

自然放鳥から20年



コウノトリ放鳥20周年記念イベントを開催します

日本の野外で一度は絶滅したコウノトリ。野生復帰に向けた初の放鳥から、今年で20年を迎えます。改めてコウノトリと共生するまちづくりについて考える機会として、記念イベントを開催します。

《問合せ》コウノトリ共生課 ☎21-9017

はしもとみお木彫展

- ▶開催期間 6月14日(土)～22日(日)
- ▶会場 コウノトリ文化館
- ▶内容 里山に生息する生きものの彫刻やスケッチなど、豊岡にゆかりのある木彫刻家はしもとみおさんの作品を展示

トークセッション 生きものたちと つながり、くらす。

- ▶開催日 6月15日(日)
- ▶時間 午後1時30分～3時
- ▶会場 コウノトリ文化館 多目的ホール
- ▶パネリスト はしもとみおさん、村田浩一さん(よこはま動物園ズーラシア園長)
- ▶ゲスト 出口智広さん(県立コウノトリの郷公園主任研究員)
- ▶定員 会場80人(先着)
- ▶その他 オンライン配信あり

みお先生のスケッチワークショップ 生きものを描く

- ▶開催日 6月14日(土)
- ▶時間 ①午前10時～11時
②午後1時～2時
- ▶会場 コウノトリ文化館 観察広場周辺
- ▶講師 はしもとみおさん
- ▶モデル 観察広場の飼育コウノトリ
- ▶対象 絵を描くことが好きな小学生～大学生
- ▶定員 各回20人(申込多数の場合は抽選)

その他、市内の自然に関わる団体などの活動ポスター展示を実施します。

ワークショップとトークセッションは、フォームからの申込みが必要です。

詳細は、市ホームページで確認してください。



コウノトリと、トキと、食・地域の未来と。

兵庫県・豊岡市×新潟県・佐渡市 環境創造型農業サミット

「農業にはこんな価値がある!」と題して、農業の未来を知ることができる環境創造型農業サミットを開催します。

▶内容

- ▷タレント／農政ジャーナリスト 大桃美代子さん講演会
- ▷環境創造型農業で作ったお米を食べてみよう「コウノトリ育むお米」と「朱鷺と暮らす郷米」
- ▷環境学習発表
豊岡市田鶴野小学校×佐渡市行谷小学校
- ▷取組事例紹介&グループディスカッション
コーディネーター 小谷あゆみさん
- ▷調べてみよう。生きもの調査



コウノトリがいる田んぼにはこんなにたくさん生きものがいる。

- ▶場所 市民会館
- ▶日時 6月7日(土)午前10時～午後3時15分※生きもの調査の参加希望者は午後5時終了予定
- ▶参加費 無料



◀コーちゃんや
フードカーも
やってきます

申込み専用ページ
はこちら▶



《問合せ》環境創造型農業サミット運営事務局 ☎070-5046-8903



コウノトリ羽ばたく自然豊かなゼロカーボンシティを目指して 脱炭素アカデミーの参加者を募集します

脱炭素社会の実現に向けて、広く市民や事業者へ脱炭素行動を促し、脱炭素を通じて地域課題を解決する人材育成とコミュニティづくりを目的に、脱炭素アカデミーを開講します。脱炭素アカデミー修了者には、脱炭素に関する相談や助言ができる人材として市が認定し、修了証を渡します。

▶対象

▷本市在住の高校生以上の方

▷本市に所在地のある事業者の方

※いずれも年間を通じて講義に参加できる方

▶定員 30人(申込多数の場合は抽選)

▶回数 7月(第1回開講日)から2026年3月までに6回程度

▶テーマ 気候変動を取り巻く現状、再エネ導入、断熱、サステナブルツーリズムなど

▶講師 各回テーマに沿った講師が登壇予定

▶受講料 無料

▶申込み 6月20日(金)までに市ホームページの専用フォームから申し込んでください。(二次エントリーコードから専用フォームにアクセスできます)

●第1回開講内容

▶開講日 7月26日(土)午後1時30分～4時30分

▶場所 豊岡市民プラザ 市民活動室D

▶講師 (一社)Climate Integrate ひらたきみこ 平田仁子さん

▶テーマ 気候変動を取り巻く現状～なぜ脱炭素が必要?～



◀申込み専用ページ
はこちら



▲平田仁子さん

《問合せ》

コウノトリ共生課脱炭素推進室 ☎21-9136

コウノトリがいつまでも住めるまちの実現に向けて

外来種の駆除に協力してください

外来種(その土地に元々いなかった生き物)は、地域の生物多様性へ大きな影響を与え、人間にも健康や経済的な被害が及ぶ可能性があります。特にオオキンケイギクのように繁殖力が強く、他種を追いやる侵略的外来種は「特定外来生物」の指定を受けており、侵入初期に防除を行うことで多くの在来種を守り、駆除する外来種自身の数も少なくすることができます。

オオキンケイギクの駆除

オオキンケイギクが増えると以下のような被害が想定されます。

▷生態系被害 単一のオオキンケイギクに置き換わってしまうことで生物多様性の低下を招く。

▷景観被害 里山などの日本の伝統的な文化的景観を一変させる。

駆除活動を進めていますが、市内で分布が広がっており、より広範囲での駆除が求められています。

クリーン作戦の機会を活用し、引き抜きによる駆除を大人数で行うことで、減らすことができます。また、秋季や早春の花のない時期にも駆除を行うことが効率的です。

クリーン作戦以外にオオキンケイギク駆除に取り組む場合、駆除後の処分方法や、駆除

用具への助成事業の活用などは、コウノトリ共生課に相談してください。

豊岡市外来種対策行動計画の策定

市では、オオキンケイギクを含む16種の特定外来生物が確認されています。2月に策定した豊岡市外来種対策行動計画では、種の特性や侵入状況の周知のほか、市民協働での外来種対策の推進やモニタリング調査を行い、より実効的な外来種対策を推進します。 豊岡市外来種対策行動計画▶



▲オオキンケイギクの花



▲花がない時期の姿

《問合せ》コウノトリ共生課 ☎21-9017